

八代市立図書館 運営方針

令和 6 年 3 月

八代市教育委員会

目 次

はじめに	・・・・・・・・・・ P1
八代市立図書館の現状	・・・・・・・・・・ P2
1 利用状況	
2 蔵書数	
3 実施事業	
基本方針	・・・・・・・・・・ P9
運営方策	・・・・・・・・・・ P10
1 郷土を拓く人を育む図書館	・・・・・・・・・・ P10
(1) 課題解決に取り組む市民の読書活動の推進	
(2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実	
(3) 子どもの読書活動の推進	
2 市民のニーズに応える図書館	・・・・・・・・・・ P11
(1) ユニバーサルデザインの視点を踏まえた環境整備や アクセシブルな資料の充実	
(2) 外国語資料の充実	
(3) 地域における読書活動の充実	
(4) 定住自立圏協定による広域連携サービスの実施	
(5) 県立図書館をはじめとした他自治体図書館との連携	
(6) 図書館の施設整備	
(7) 指定管理者による運営	
3 八代の文化を支える図書館	・・・・・・・・・・ P13
(1) 文化創造機会の提供	
(2) 各館ごとの特色あるサービスの提供	
4 市民協働による図書館	・・・・・・・・・・ P13
(1) 学校との連携強化、協働による事業の充実	
(2) 地域施設・ボランティアとの連携・協働による読書推進	
(3) 自主事業への市民参加	
(4) 図書館運営への市民参加	

はじめに

八代市立図書館（以下、市立図書館という。）は、平成27年度から指定管理者制度を導入し、令和5年度末をもって9年となります。市立図書館では、指定管理者のノウハウを生かし、市民の読書活動に寄与するため、図書館サービスの向上に日々取り組んでいるところです。

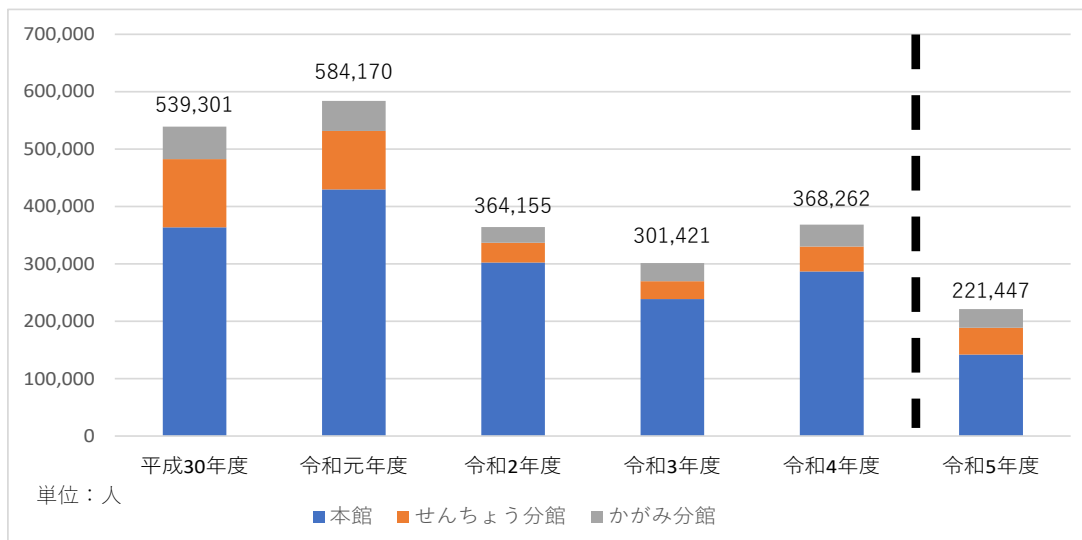
一方、図書館や読書活動を取り巻く環境は、社会情勢の変化に伴い、刻々と変化しています。パソコンやスマートフォン等が普及し、従来の紙書籍だけではなく電子書籍やデジタルアーカイブ資料も手軽に利用できるようになり、注目されています。また、学校においても児童・生徒に1台ずつタブレット端末が配付され、子どもたちの生活においてもデジタル端末が身近になっています。

このような社会情勢の中、これからの図書館はどうあるべきか、何が求められているのかを把握するとともに、市立図書館の現状や課題、市民ニーズを踏まえ、地域を支える情報拠点として、より一層市民に親しまれ、身近で役立つ図書館を目指し、この度、運営方針を改定し、教育委員会と指定管理者がともに取り組んで参ります。

八代市立図書館の現状

1 利用状況

(1) 入館者数

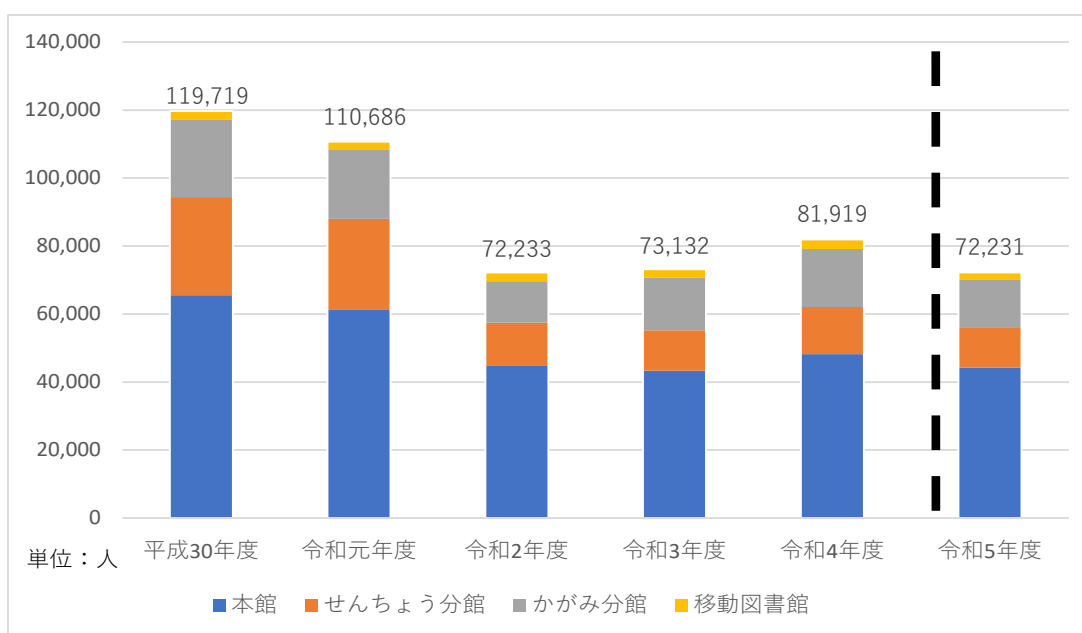


注) 令和5年度からICゲートでのカウント方法に変更

注) R5は1月末現在

令和2年3月から令和5年5月まで、新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休館、開館時間の短縮、イベントの開催自粛を行ったため入館者数は減少傾向となりました。

(2) 図書の貸出利用者数



注) 新型コロナウイルス感染防止対策による臨時休館

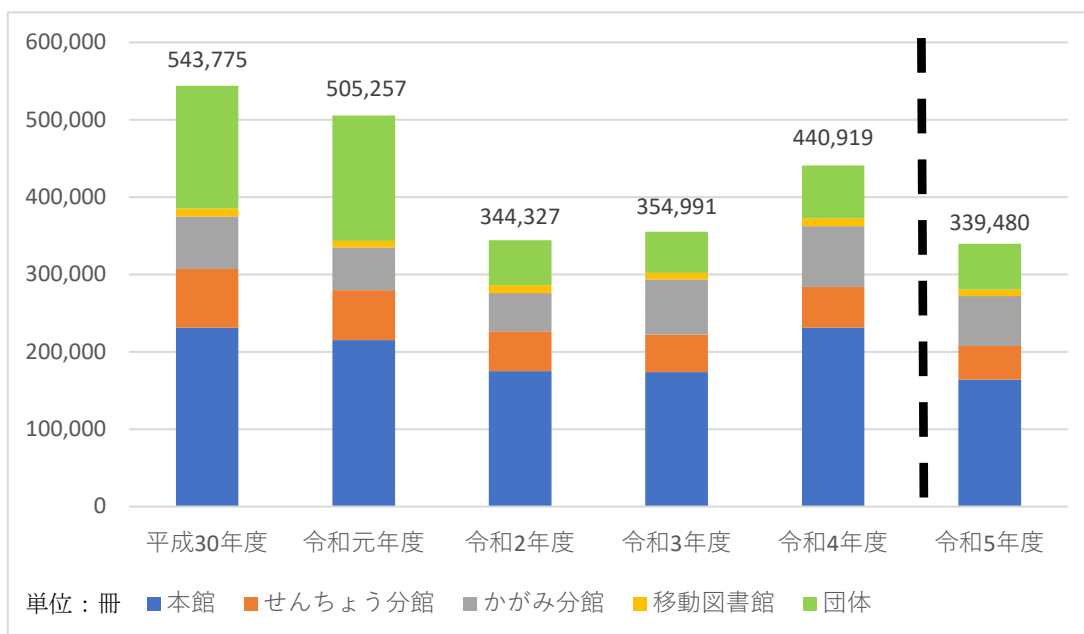
注) R5は1月末現在

令和元年度：令和2年3月3日～3月31日

令和3年度：令和3年4月24日～5月13日

その他、令和元年度から令和3年度にかけて新型コロナウイルスの感染状況に応じ時間制限や予約本の受け渡しのみを行うなどの制限つき開館を行った。

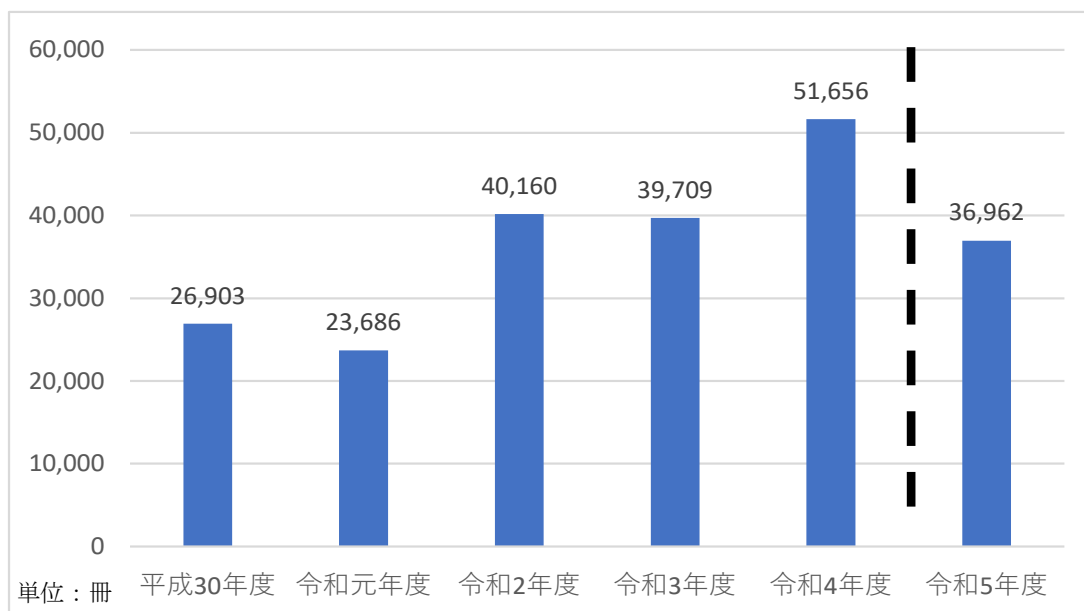
(3) 貸出冊数(個人+団体)



注) R 5は1月末現在

新型コロナウイルス感染防止対策に伴う臨時休館等により、令和2年度以降、個人貸出及び団体貸出の利用は減少していましたが、令和4年度より徐々に増えつつある状況です。

(4) 予約冊数



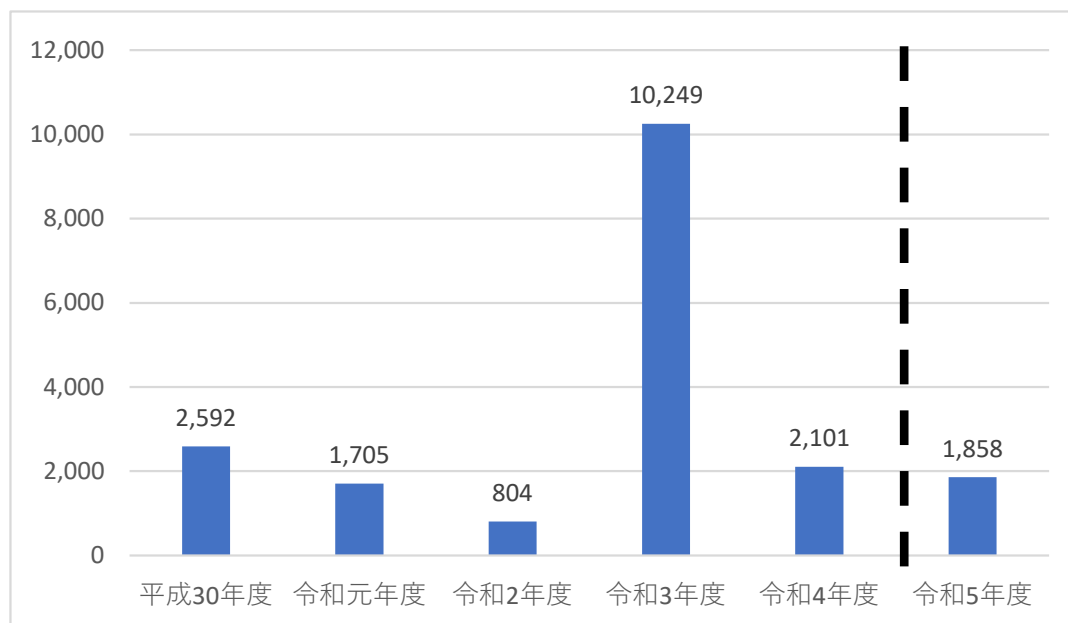
注) R 5は1月末現在

注) 令和4年度より電子図書館の予約数も含まれる

予約サービスについては、平成30年度と比べるとコロナ禍となった令和2年度は1.5倍に増加しました。これは、図書館の滞在時間を短くし、予約本の受取のみの利用が増えたためと考えられます。

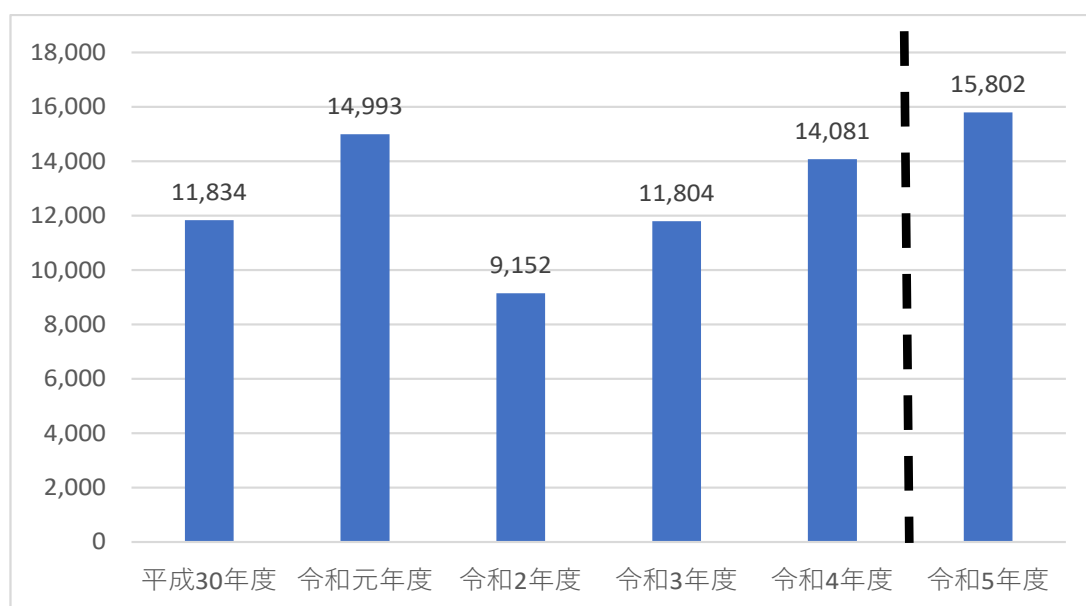
(5) 利用登録者数

新規利用登録者数(人)



注) R 5は1月末現在

有効利用登録者数(人)



有効利用登録者数：年度内に図書館を利用した登録者数（実人数） 注) R 5は1月末現在

令和4年2月から八代市立小・中・特別支援学校の児童生徒のタブレット端末利用による電子図書館サービスの開始に伴い、9,253名の一括登録を行ったため、一時的に利用登録者数が増加しました。令和4年度以降、小学校新一年生全員の登録を行うため、登録者数は増加傾向にあります。

また、一年間に図書館を利用した「有効利用登録者」も増加傾向にあります。電子図書の利用増（P5（3）電子図書）も一因と考えられます。

2 蔵書数

(1) 資料区分別 蔵書数 (単位：冊) 令和5年3月31日現在

	一般書		児童書		視聴覚		移動図書館	計
	冊数	割合	冊数	割合	冊数	割合	冊数	
本館	197,882	73.6%	68,745	25.6%	2,153	0.8%	18,093	286,873
せんちょう	38,569	56.1%	29,092	42.3%	1,058	1.5%	—	68,719
かがみ	45,602	60.9%	27,871	37.2%	1,357	1.8%	—	74,830
計	282,053	68.4%	125,708	30.5%	4,568	1.1%	18,093	430,422

人口15万未満の市区での全国平均蔵書冊数・・・469千冊 (出典：図書館年鑑 2022)

(2) 雑誌・新聞 種数 (単位：種) 令和5年3月31日現在

	本館		せんちょう		かがみ	
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈
新聞	8	0	2	0	4	0
雑誌	54	4	31	0	37	0

(3) 電子図書

	新規登録 (人)	貸出 (冊)	予約 (冊)	受入数 (冊)		所蔵数 (冊)
				購入	独自	開館時 3,194
令和2年度	1,612	3,799	587	1,673	12	10,042
令和3年度	12,249	11,491	8,918	3,224	10	9,662
令和4年度	3,226	29,925	16,062	3,477	10	13,016

独自・・・八代に関するものや図書館講座等での発表作品などを図書館独自で電子図書化したもの。

令和4年2月から八代市立小・中・特別支援学校の児童生徒のタブレット端末利用による電子図書館サービスが始まり、電子図書の利用は急激に増加しました。

3 実施事業

令和3年度～4年度の主な事業

【本館】

行事名	開催月等	内容
としょかんおはなし会	月4回	絵本の読み聞かせなど
としょかんおはなし会スペシャル	年6回	絵本の読み聞かせ・工作など
えいご de おはなし会	月1回	英語絵本の読み聞かせ
あかちゃん向けおはなし会（おひざにだっこのおはなし会）	月1回	絵本の読み聞かせ・手遊びなど
0・1・2歳時向けおはなし会	月1回	絵本の読み聞かせ・パネルシアター・手遊びなど
幼児・小学生向けおはなし会	月1回	絵本の読み聞かせ・パネルシアター・手遊びなど
図書館講座	月1回	幅広い世代を対象にさまざまなテーマの講座を実施
プログラミング講座	年3回	ロボット「こくり」を利用した、プログラミングの基礎講座
ブックスタート全国研修会	年1回	ブックスタートについての講演、報告、事例発表
八代市立図書館を使った調べる学習コンクール	年1回	八代市立図書館を使った調べる学習コンクールを開催
図書館シネマ	月1回	映画上映会「マチネの終わりに」など
バリアフリー上映会	年1回	上映「おらおらでひとりいぐも」など
秋の子どもシアター	年1回	上映「はらぺこあおむし」など
としょかんマルシェ	年1回	出張プラネタリウム、おはなし会、工作教室、古本市、物産展、飲食物出展
図書館まつり	年2回	子どもの読書週間、秋の読書週間に開催。ブックリサイクル、工作教室など

三館合同事業 ※八代・鏡の保健センターで実施

行事名	開催日数	内容
ブックスタート	年間41日	7ヶ月児健診の際、読み聞かせの大切さを伝え、実演や本の紹介後、赤ちゃん絵本を配布

【せんちょう分館】

行事名	開催月等	内容
としょかんおはなし会	月3回～4回	絵本の読み聞かせ
としょかんおはなし会スペシャル	年6回	絵本の読み聞かせ・工作など
えいごであそぼう	月1回	英語絵本の読み聞かせ
あかちゃん向けおはなし会（赤ちゃん広場）	月1～2回	0歳児～未就学児向けおはなし会
幼児・小学生向けおはなし会	月1回	絵本の読み聞かせ・パネルシアター・手遊びなど
まなびフェスタスペシャルおはなし会	年1回	絵本の読み聞かせ・工作など
プログラミング講座	年3回	ロボット「こくり」を利用した、プログラミングの基礎講座
図書館まつり	年2回	子どもの読書週間、秋の読書週間に開催。ブックリサイクル、工作教室など
図書館講座	年6回	幅広い世代を対象にさまざまなテーマの講座を実施

【かがみ分館】

行事名	開催月等	内容
としょかんおはなし会	月3回～4回	絵本の読み聞かせ
としょかんおはなし会スペシャル	年6回	絵本の読み聞かせ・工作など
あかちゃん向けおはなし会（おはなしぴよぴよ）	月2回	絵本の読み聞かせ・紙芝居・手遊び
図書館講座	年5回	幅広い世代を対象にさまざまなテーマの講座を実施
プログラミング講座	年3回	ロボット「こくり」を利用した、プログラミングの基礎講座
かがみマンガ Week	年1回	かがみマンガ文庫特別展示
図書館まつり	年2回	子どもの読書週間、秋の読書週間に開催。ブックリサイクル、工作教室など

年間を通してさまざまな読書活動推進につながる催しや活動を行っていますが、指定管理者制度導入後は、小学校、中学校や各種団体からの依頼を受け、図書館

スタッフが出向き、ブックトーク¹、おはなし会、アニマシオン²等を行い、児童・生徒の発達に応じた読書活動支援や、商店街や他機関と連携し幅広く読書活動の普及・啓発を実施しています。

今後も引き続き、他の関係機関と連携し市民の読書活動をさらに推進していくため啓発等にも努めていく必要があります。

¹ブックトーク：子どもや成人の集団を対象に、あらすじや著者紹介等を交えて、本への興味が湧くような工夫を凝らしながら本の紹介をすること。

²アニマシオン：子どもたちの参加により行われる読書指導のことであり、読書の楽しさを伝え自主的に読む力を引き出すために行われる。ゲームやクイズ形式などがある。

基本方針

公共図書館は、地域住民に対して様々な分野の資料を収集し提供する施設です。しかし、資料の無料貸出や読書支援だけが、今日における図書館の役割ではありません。

社会は急速な技術革新を遂げています。時代の変化と情報の時代を市民がより良く生きていくためには、新聞や雑誌、Webサイト等のメディアの特性を知り、情報の的確な読み取りと活用が必要不可欠です。市民が必要な資料を気軽に入手できる施設こそ図書館であり、これを実現するために図書館は様々な活動を展開する施設へと変わらなければいけません。本市においては、平成27年度の指定管理者制度導入に伴い、県内でもいち早く電子図書を導入し、読書機会の提供に努めてきました。

本図書館は、今後も市民の読書活動の促進のために、次の4つの事項を基本方針とし、図書館運営を進めていきます。

- 1 郷土を拓く人を育む図書館**
- 2 市民のニーズに応える図書館**
- 3 八代の文化を支える図書館**
- 4 市民協働による図書館**

運営方策

1 郷土を拓く人を育む図書館

(1) 課題解決に取り組む市民の読書活動の推進

- ・様々な課題解決に役立つ図書館資料や情報の積極的な収集・保存・提供を行います。
- ・自主事業の実施を通し、市民の読書活動の啓発及び支援を行います。

(2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実

- ・電子図書の充実を図るとともに、PR活動を行い、市民へ広く利用方法等を周知します。また、児童生徒への学校配付タブレット端末による電子図書の利用について、広く学校図書館支援員などの学校関係者に周知します。
- ・レファレンス³業務について、事例の共有化や研修を実施します。
- ・市民の調べものなどに対応できる商用データベースの利用を推進します。
- ・デジタルアーカイブ⁴の充実、利用の推進及び拡充を目指したPR活動を行います。
- ・総合窓口（レファレンスカウンター）において、利用者の調べもの等に対応します。

(3) 子どもの読書活動の推進

- ・「八代市子ども読書活動推進計画」を踏まえた取組を行います。
- ・児童用資料の充実及び環境の整備を行います。
- ・図書館スタッフによるおはなし会や出前講座を開催します。
- ・学校や子育て支援センターへの団体貸出を推進し、子どもたちへの読書活動推進に努めます。
- ・ブックスタート事業⁵を継続します。

³レファレンス：調べもの相談サービス。利用者が知りたい情報や調べたいことがある場合、図書館職員が調べものの支援を行うこと。

⁴デジタルアーカイブ：様々な情報資源をデジタル化し、それを整理・保存して、インターネット等を用いて公開することを指す。

⁵ブックスタート事業：0歳児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動で、全国の1,741の自治体のうち1,105（R5.11.30現在）の自治体で行われている。具体的には、絵本の読み聞かせの実演や、乳幼児期からの読み聞かせの大切さについて説明し、ご家庭ですぐに使ってもらえるよう絵本のプレゼントを行う。

2 市民のニーズに応える図書館

(1) ユニバーサルデザインの視点を踏まえた環境整備やアクセシブルな資料の充実

- ・視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）を踏まえ、アクセシブルな資料⁶（デイジー図書⁷等）の充実を図ります。
- ・大活字資料の充実を図ります。
- ・高齢者目線に立った図書館資料の収集及び展示、行事を実施します。
- ・八代市電子図書館⁸内における電子図書やオーディオブックの充実を図ります。
- ・障がいのある方への円滑な利用のための支援の充実を図ります。
- ・介護保険制度や在宅ケアの技術などの福祉関連図書を集めた福祉コーナーを設置します。
- ・アクセシブルな書籍の充実、読書支援サービスの利用促進や拡充を目指したPR活動を行います。
- ・障がいのある方への点字や録音図書の郵送サービスや高齢者などへ向けて大活字本等についての周知を強化します。
- ・視覚や聴覚に障がいのある方でも一緒に鑑賞できるバリアフリー上映会を行います。

(2) 外国語資料の充実

- ・英語などの外国語で書かれた絵本、児童書、一般書など、外国語資料の充実を図ります。
- ・英語などの外国語に親しめる展示やイベントを行い、外国語資料と触れ合う機会づくりを行います。

(3) 地域における読書活動の充実

- ・移動図書館を運行し、図書館から遠い所にお住まいの市民への図書提供を図ります。
- ・学校等の移動図書館巡回場所では、図書館スタッフによる子どもたちへの声かけや、学校からの相談等を受け付けます。

⁶ アクセシブルな資料：障がい者等が利用しやすい書籍等。点字図書、拡大図書、LLブック（知的障がいのある人や日本語を母語としていない人など、文字を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人でもやさしく読めるよう工夫されている本）、触る絵本、布絵本、音声読み上げ対応の電子書籍、音声デイジー等のデイジー図書等

⁷ デイジー図書：デジタル録音図書の国際標準規格で、書籍の内容を音声で記録した図書のこと。

⁸ 八代市電子図書館：八代市立図書館ホームページ上に設置している、電子図書貸出システム。八代市立図書館所蔵の電子図書の貸出、予約、資料検索等ができる。

- ・校区のコミュニティセンターに図書館の蔵書やリサイクル図書を設置し、地域の方々の読書活動を推進します。

(4) 定住自立圏協定による広域連携サービスの実施

氷川町及び芦北町との定住自立圏協定⁹締結による相互利用（利用カード登録、図書貸出）を継続します。

(5) 県立図書館をはじめとした他自治体図書館との連携

相互貸借などによる県立図書館や他自治体図書館との連携を今後も継続し、幅広い利用者の資料ニーズに応えます。

(6) 図書館の施設整備

八代市立図書館本館は開館して約39年が経過、せんちょう分館、かがみ分館においても19年～24年が経過しており、設備の老朽化が課題です。安全で快適に利用できる環境を確保するため、計画的な施設・設備の改修や更新を行っていきます。

また、社会状況や市民ニーズにあわせ、市民が図書館を利用する際により役立つ設備を整備するなど、館内の利便性の向上に努めます。

(7) 指定管理者による運営

市民の身近な生涯学習の中核施設として図書館運営を行ってきましたが、更なる市民サービスの向上を目指し、平成27年度から指定管理者による管理・運営を行い、開館日の増加や開館時間の延長、電子図書の導入など、より利用しやすい図書館として業務を行っています。

今後も市と指定管理者が連携・協力し、質の高い図書館サービス及び市民の読書活動の推進に努めます。

⁹ 定住自立圏協定：中心市と周辺町が1対1の関係により定住のために必要な生活機能を確認するため、役割を分担して行う連携事項について、協定を締結するもの。

3 八代の文化を支える図書館

(1) 文化創造機会の提供

- ・八代の歴史や文化に関する郷土資料の収集・保存・提供の充実を図ります。
- ・郷土資料のデジタルアーカイブの充実を図ります。
- ・図書館講座などの事業を通して、市民の文化創造の機会を提供します。

(2) 各館ごとの特色あるサービスの提供

本館、せんちょう分館、かがみ分館それぞれの立地や館の特色を生かしたサービスを提供します。また各館ごとに近隣の教育機関等との連携を図り、それぞれ特色あるサービスにつなげます。

4 市民協働による図書館

(1) 学校との連携強化、協働による事業の充実

- ・図書館資料や情報提供、読書活動推進へのアドバイスを行うなど、学校や学校図書館との連携を強化します。
- ・八代市児童生徒のタブレット端末による電子図書サービスを継続します。

(2) 地域施設・ボランティアとの連携・協働による読書推進

- ・八代市の他部署や他の教育機関などと連携した講座や、共催事業の開催を積極的に行います。
- ・おはなしボランティアによる朗読やおはなし会の実施など、図書館活動を支える市民と連携し、より一層、読書活動を推進します。

(3) 自主事業への市民参加

地域との協働を積極的に進め、「図書館まつり」や「としょかんマルシェ」等、市民参加型事業を充実することで、図書館の利用促進を図ります。

(4) 図書館運営への市民参加

- ・八代市立図書館協議会において、委員から幅広く意見を聴き、図書館サービスに反映させます。
- ・図書館の利用拡充に向け、市民へのアンケートを実施します。